



TO SUPPORT PEOPLE'S LIFE

2024/3/31現在

学会		
標題	学会名	発表年月日
Use of RWD to Support Healthcare Decision Making in Japan. The Devil Lies in the "D". How Is the Data Landscape Evolving in Japan?	ISPOR Europe 2022	2022年11月9日
Real-World Evidence Generation in Japan: Uses and Challenges	ISPOR 2021	2021年5月19日
特別セッション1:リアルワールドデータ活用の最新動向	大分統計談話会・第61回大会	2020年2月6日
MDV を用いた研究の実際(1):データベース研究における解析業務の実態	日本薬剤疫学会 実務者のためのデータベース研究講座 その3	2020年1月20日
Determinants of unmet needs and impact on ambulatory health care expenditures	ISPOR Asia Pacific 2018	2018年9月10日
CRCの同意補助説明を考える	第17回 CRCと臨床試験のあり方を考える会議	2017年9月2日
緑茶抽出物の肝臓に対する安全性:無作為化比較試験の系統的レビュー	第280回疫学懇話会	2017年1月16日
治験業務で使用する電子システムの問題点	第16回 CRCと臨床試験のあり方を考える会議	2016年9月19日
施設における実施体制整備の課題:外部支援機関からみた医師主導治験や臨床研究の現状	第13回CRCと臨床試験のあり方を考える会議	2013年9月15日
痛みの評価尺度のあり方を考える -評価におけるCRCの役割の重要性-	第11回CRCと臨床試験のあり方を考える会議	2011年9月24日
線維筋痛症患者における痛みの評価尺度のあり方を考える -CRC から見た評価の重要性-	第3回日本線維筋痛症学会	2011年9月10日
CRCが担う臨床研究の役割:病識の乏しい被験者への対応 ~J-DOIT3の経験を通じて~	第10回CRCと臨床試験のあり方を考える会議	2010年10月1日
「臨床研究に関する倫理指針」が定める補償に対する認識の現状 -補償か?保証か?-	第9回CRCと臨床試験のあり方を考える会議	2009年9月12日
「臨床研究に関する倫理指針」の観点から捉えた実際の臨床研究における問題点	第8回CRCと臨床試験のあり方を考える会議	2008年10月10日
RA疾患活動性の評価における新しい評価システムの構築について	第20回日本臨床リウマチ学会総会	2005年11月4日
三重県における地域密着型SMOとしての取り組み	第37回東海薬剤師学術大会	2004年12月5日

論文発表

標題	掲載雑誌	発表年月日
Strategies to Address Current Challenges in Real-World Evidence Generation in Japan. https://doi.org/10.1007/s40801-023-00371-5	Drugs – Real World Outcomes	2023年5月13日
Context and Considerations for Use of Two Japanese Real-World Databases in Japan: Medical Data Vision and Japanese Medical Data Center. https://doi.org/10.1007/s40801-022-00296-5	Drugs – Real World Outcomes	2022年3月18日

ホワイトペーパー

What You Need to Know About Real-World Databases in Japan. Spring 2021 Evidence Forum, May 2021, US

著作・訳書

CRCからみた疼痛薬治験の実施ポイント. 痛みのメカニズムとこれからの治療薬・治療法の開発～治療へのニーズ・非臨床試験の適切な実施・エビデンスの得られる臨床試験デザインへ. P145-156, 技術情報協会, 2015.

e-ラーニングプログラム「線維筋痛症」. 財団法人日本リウマチ財団, 2008.

疾患活動性と治療の評価. 線維筋痛症ハンドブック. 88-96, 日本医事新報社, 東京, 2007.